

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫ 介護サービス事業所部会【報告書】			
サービス種別	養護・軽費老人ホーム部会		
開催日時	令和6年10月22日(火) 13:30～15:00	開催場所	阿南市役所202会議室
部会代表者	高崎	報告者	高崎
議題	①各事業所の課題・困りごとについて ②阿南市在宅医療・介護連携事業における4つの場面の意見について		

議題①		①各事業所の課題・困りごとについて
検討した項目	・施設内行事の時の職員配置について ・後見人について	
検討内容	（施設内行事の時の職員配置について） 通常の職員配置と施設内行事の時の職員配置（増減など）について、それぞれの事業所での状況を共有した。 （後見人のことについて） 身元引受人が高齢、認知症で身元引受けできないので困っている。病気や延命治療などの判断が必要な時に対応が難しくなっている。介護が必要になってきて特養へといっても、移れない状況もある。看取りにおいても、家族、本人の意思確認が難しい。後見制度について知っておく必要がある。	
結論	（施設内行事の時の職員配置について） それぞれ少ない職員配置でも、様々工夫を凝らして行事等を行っている。また、こういった職員配置でこういった運営の工夫をされているのか、お互いの事業所において見学研修等を行うことも検討していく。 （後見人について） 後見人制度については、社協に相談する。また、阿南市版エンディングノート「たまたて箱」、「もしもの時」のために等の、本人の意思を示すことができるツールを使用していく。（看取りの聞き取り等）	
残された課題	引き続き、認知症が進んだ方への施設の対応や看取りに対する取り組みについて検討が必要である。	
備考		

議題②	②阿南市在宅医療・介護連携事業における4つの場面の意見について
検討した項目	阿南市在宅医療・介護連携推進事業における4つの場面について
検討内容	医療と介護が主に共通する4つの場面 ・日常の療養支援 ・入退院支援 ・急変時の対応 ・看取り を意識して取り組む必要があり、場面ごとに阿南市が「目指すべき姿」の設定について、湯浅センター長より説明があった。
結論	・各部会で目指すべき姿について協議する。 ・目指すべき姿を踏まえ、各職種の立場での現状や問題点を抽出する。 ・抽出された課題から今後の施策への反映を目指す。 以上の説明を受け、4つの場面の目指すべき姿への取り組みについて、理解した。
残された課題	4つの場面ごとに目指すべき姿について、各部会で提案等あれば市へ提出するとのことで、次回の部会にて検討し、提案内容をまとめる。
備考	

【会議風景写真】

